

## 第1章 “元氣な福井”をめざして

### (1) 県政の方針「福井元氣宣言」

福井県では、「福井元氣宣言」を掲げ、「元氣な産業・元氣な社会・元氣な県土・元氣な県政」という4つの大きな政治ビジョンを提示しています。

このたび策定した道路の将来ビジョンは、特に「元氣な県土」の実現を担うものであり、そこで示されている

- ・ 舞鶴若狭自動車道の敦賀からの着工と早期全線開通
- ・ 中部縦貫自動車道の整備促進
- ・ 交通ネットワークとして不可欠な地域の道路網の整備

といった具体的施策を織り込み、体系付けています。

#### ○福井元氣宣言

##### 元氣な産業

- ・ 経済対策の緊急発動
- ・ ものづくり・新産業創出等
- ・ 福井の豊かさを支える農林水産業

##### 元氣な社会

- ・ 女性の元氣が福井の元氣
- ・ 未来を託す人づくり
- ・ 生き活きやさしい福井づくり

##### 元氣な県土

- ・ 原子力は県民の立場に立って
- ・ **福井は列島のまん中 - より近くより便利に**

##### 元氣な県政

- ・ 新しい福井県政府の樹立
- ・ 夢あるふるさとづくり

## (2) 福井の道路を考える地方懇談会

今回、道路のあり方を見直すに当たり、県民の意見やニーズの的確な把握、新しい指針に対する公正な評価が必要であることから、県内の有識者や各界・各層の代表からなる「福井の道路を考える地方懇談会」(以下、「地方懇談会」)を設立し、この会において出された意見を集約した提言をもとに、本ビジョンの方針などを策定しました。

(提言 = 参考資料参照)

地方懇談会 メンバー表

	氏名	役職
座長	本多 義明	福井大学 副学長
委員	岡 敏弘	福井県立大学大学院 教授
	河瀬 一治	敦賀市長
	加藤 澄子	(社)福井県看護協会 会長
	北村柳之助	福井県商工会議所連合会 副会頭
	土山弥一郎	福井テレビジョン放送(株)報道制作局付局長
	中嶋 泰子	(株)中嶋総合鑑定所 副所長
	西尾 研二	(社)福井青年会議所 理事長
	長谷 政志	(社)福井県観光連盟 副会長

役職は、懇談会開催時のもの

### 地方懇談会開催期日とテーマ

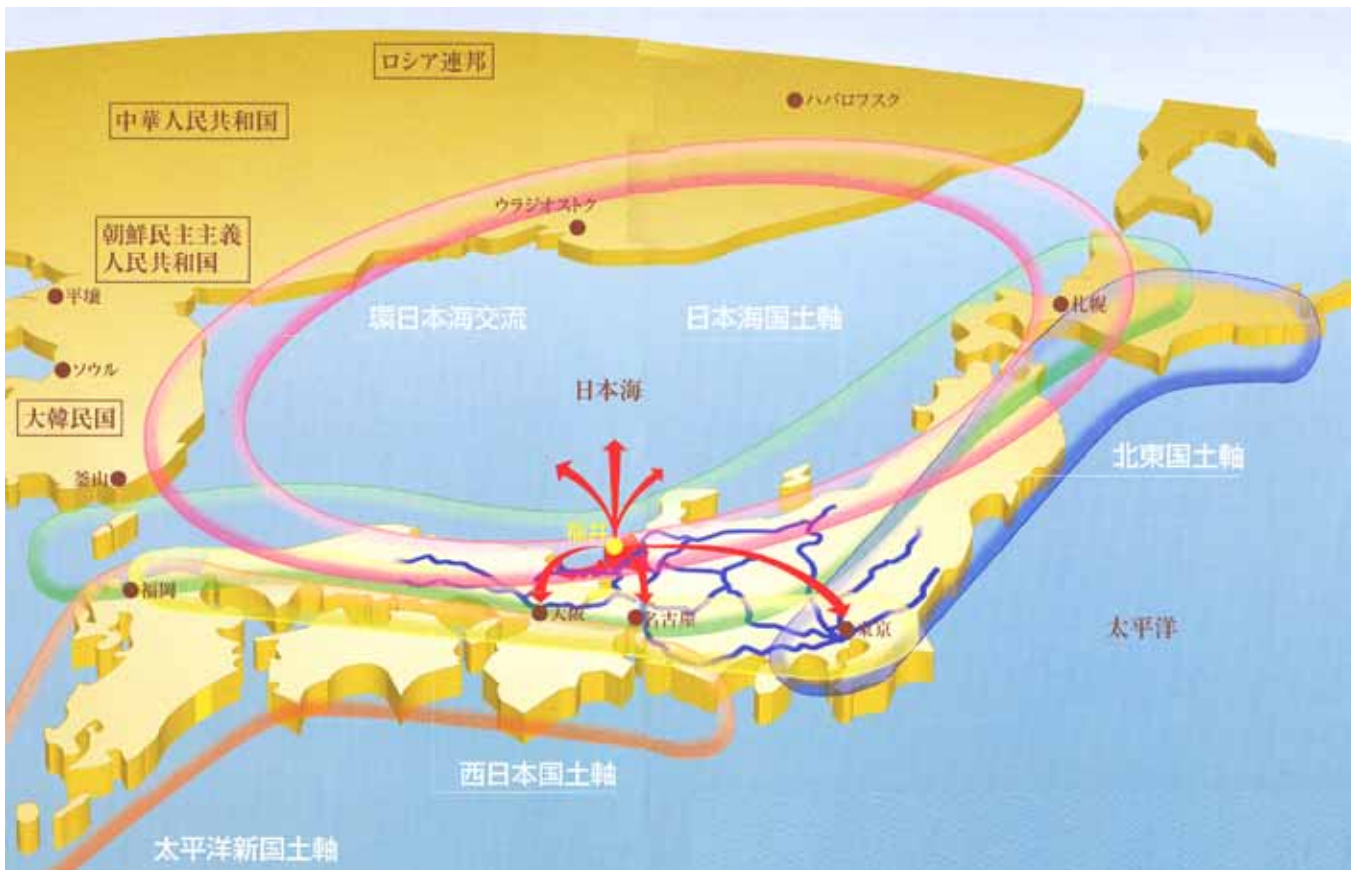
- 第1回 平成14年4月 5日 「福井の道路の現状と課題について」
- 第2回 平成14年4月30日 「道路整備に対するニーズの把握と道づくりの方向性について」
- 第3回 平成14年6月12日 「道路整備の基本的な進め方、基本方向」の提言

### (3) 福井県の特性

福井県は、日本海沿岸地域のほぼ中心部に位置し、古くから大陸文化を「都」に伝える日本海側の玄関口として、また文化や交流の中継点として重要な役割を果たしてきました。

また、近畿圏、中部圏という二つの圏域のいずれにも属するとともに、富山、石川両県と北陸圏を形成するという複属性を持っています。

このような地理的特性と歴史的背景を持つ福井県は、「21世紀はアジアの時代」といわれる中において、環日本海地域における交流の拠点、および日本海国土軸と近畿圏、中部圏の節点として、その機能を大いに発揮することが期待されています。



福井県の位置

#### (4) 福井県を取り巻く社会情勢の変化

我が国は、「共生の時代」「地球時代」「少子高齢化時代」「高度情報化時代」といわれるように、また昨今の地方分権論の高まりや、国、地方を問わず、財政がかつてない厳しい状況に陥るなど、時代の大きな転換期を迎えています。

このような時代認識を踏まえ、今後の福井県がめざすべき方向を見定めるためには、

「経済のグローバル化の進展」

「地球規模にまで広がった環境問題」

「高度情報化の著しい進展」

「少子化、高齢化の進行」

「価値観、ライフスタイルの多様化」

「地方分権、規制緩和等地方自治を取り巻く流れ」

といった、様々な社会情勢の変化を的確に捉えておく必要があります。

( 5 ) 道路の将来ビジョンの位置付け

道路の将来ビジョンの位置付け

